



芦小だより

令和2年7月30日(木)

7月の生活目標：時間を守ろう

【夏休み前号】

芦屋町立芦屋小学校

住所：芦屋町白浜町3786

電話：093-223-0059

児童数177名(7月30日現在)

〈文責：石橋 勝志〉

8月6日は終業式！ 頭・心・体のリセットを

コロナ禍の中、臨時休校等が続いた1学期でしたが、来週は終業式です。学校が再開し、新しい生活様式になっても、あこがれモデルらしさを発揮した上級生。上級生をモデルにしながら進んで考え行動した下級生。短い1学期間、学習や生活によく頑張りました。1学期の教育活動において、保護者の方には多大なるご理解とご協力をいただきありがとうございました。また、地域の方には登下校時における温かい声かけや見守り等、いつも本校の子ども達に目や心を配っていただきありがとうございました。おかげで子ども達は健康や安全に気をつけながら学校生活を送れました。

今年度は短い夏休みとなります。休み期間中においても引き続き健康や安全に気をつけながら、頭・心・体をリセットして8月18日の2学期始業式に元気な顔を見せてほしいと思います。

◇ 短い1学期：思い出の一コマ写真集



【1年 あさがおの観察】



【2年 1年生と学校探検】



【3年 芦屋校区探検】



【4年 ペットボトルロケット】



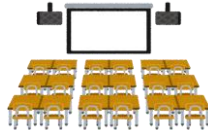
【5年 伝統の「芦屋ソーラン」練習】



【6年 ICT活用授業】



【特支3学級 畑野菜の収穫】



Thank you very much! レイアン 先生

これまで本校ALTとして勤務されてきたレイアン先生がご出産、育児のため、7月退職されます。芦屋小学校にとっては大変残念ですが、無事に新しい命を誕生させ育まれることを祈念致します。これまでお世話になりました。ありがとうございました。

～ 8月の主な行事予定 ～

- 8/3(月) あいさつ運動 6年修学旅行説明会
- 8/5(水) 給食終了 大そうじ
- 8/6(木) 1学期終業式
- 8/10(月) 山の日 8/12～15 学校閉庁日
- 8/18(火) 2学期始業式 あいさつ運動
- 8/19(水) あいさつ運動 給食開始

◇ 「福岡県家庭教育のすすめ」チラシについて

家庭教育の一層の充実を図るために、福岡県PTA連合会と福岡県教育委員会より小学生の保護者の皆様へ、『福岡県家庭教育のすすめ』チラシについての依頼文書が送付されてきましたので掲載して紹介いたします。

先日配布していただいた「福岡県家庭教育のすすめ」についての御案内です。

「福岡県家庭教育のすすめ」は、保護者の皆さんに家庭教育の大切さと役割について、改めて考えていただくための提案として、福岡県が作成したものです。

家庭教育は、すべての教育の出発点といわれています。それは、乳幼児期からの親子の愛情と家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を担っているためです。

「早寝早起き朝ごはんの習慣を身につけさせましょう。」「子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう。」など、本チラシに記載している11の内容は、福岡県内のすべての家庭において、実行していただきたい内容でもあります。

また、県PTA連合会が進めている「“新”家庭教育宣言」においても、その取組として、取り上げることができます。子育ての主体者である私たちが再確認し、しっかりと取り組んでいきましょう。

チラシの裏面には、家庭教育や子育て、子どもに関する県内の相談機関の一覧が掲載されておりますので、御活用ください。

※ 裏面に、標記チラシを掲載しています。

子育ての主役は家庭です!

家庭教育は、すべての教育の出発点として、乳幼児期からの親子の愛情と家族とのふれ合いを通じて、子どもが基本的な生活習慣や、他者への思いやりや善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていく上で重要な役割を担っています。

保護者の皆さん、以下の提案から家庭教育の大切さと役割を考えましょう!

1 スキンシップ

乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう

乳幼児期のスキンシップや語りかけは、人と関わりながら生きる上で最も大切な社会性を育む基礎となります。



2 睡眠と体調管理

睡眠の重要性を親子で共有し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう

調和のとれた食事、適切な運動、十分な休養・睡眠をとることは、心と体の健やかな成長につながります。

3 話を聴く

子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう

顔を見て話を聴き、考えを認め、気持ちを受けとめようとするのは、親子の間のしっかりとした信頼関係を育みます。



4 ほめる

子どもが持っている良さや伸びを見つけ、積極的にほめましょう

頑張っている姿や失敗して悔しがっている姿もタイミングよく上手にほめることで、自尊心(自分を大切に思う気持ち)が育まれるとともに、やる気につながります。

5 叱る

叱るべき時に本気で叱り、良いこと、悪いことをしっかり教えましょう

自分や他人を傷つけたり、悲しませたりするようなことをした時など、人として誤った行動をした時には、叱っている理由や周りの人の気持ちをしっかりと伝えることが、規範意識、道徳観を育みます。

6 お手伝い

お手伝いをする機会をつくりましょう

お手伝いをする機会は、生きた知識や知恵を学ぶ場となり、責任感や自主性を育みます。



7 我慢させる

子どもが欲しがらるままに、物を与えないようにしましょう

物やお金を大切に使うこと、時や場面に応じて我慢することを適切に教えることは、自主性や耐性(忍耐)を育みます。

8 インターネットのルール

パソコンやスマートフォンでのインターネット使用に関して、家庭でルールをつくりましょう

利用に夢中になり止められず、勉強や健康に支障をきたす「ネット依存」が指摘されています。家庭でしっかりと話し合い、使い方などのルールづくりをすることは、通信機器を上手に活用する力やルールを守る力を育みます。

9 外遊び

仲間と外でしっかり遊ばせましょう

外遊びは、体力や運動能力、自主性や耐性(忍耐)、協調性を育むとともにストレスの解消にも役立ちます。

10 手本

親は子どものよき手本となります

親は「大人」の一番身近なモデルです。親自身がよき手本を示しましょう。



11 絆

家庭の役割を再認識し、親子のふれあいや絆を大切にしましょう

家庭は、子どもにとって最も身近な社会です。親子のふれあいや絆づくりを通して、社会性を育みます。

プラス1 家庭で話し合って書いてみましょう!

※出典/福岡県青少年健全育成総合計画(福岡県青少年プラン)「県民の皆さんへのメッセージ」

お問合せ先/福岡県人づくり・県民生活部 私学振興・青少年育成局 政策課
TEL/092-643-3134(直通)

